

成田空港の機能強化に関する要望

成田空港は、我が国を代表する国際基幹空港として、首都圏及び我が国における経済発展の核となる国際的な戦略拠点となっており、今後もその役割を果たしていくためには、周辺地域との共生・共栄を図りつつ、成田空港の機能を強化していくことが必要不可欠であり、そのことが、周辺地域、ひいては千葉県全体の産業・雇用環境など経済の活性化に繋がります。

ついては、国土交通省、千葉県、空港周辺9市町及び成田国際空港株式会社の四者協議会で締結された「成田空港の更なる機能強化の検討を進めるに当たっての確認書」に基づき、以下の検討を進め、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催も視野に入れ、速やかに取り組まれるよう要請します。

- 1 国土交通省及び成田国際空港株式会社から提案のあった、成田空港の年間発着容量50万回への拡大に向けて、第3滑走路の整備、B滑走路の延伸及び夜間飛行制限の緩和などの機能強化策の検討を早急に深化させること。
- 2 国土交通省、千葉県及び成田国際空港株式会社は、周辺住民が、夜間も含めて静穏な環境で暮らせるよう航空機による環境への影響や事故への不安を解消するため、可能な限りの対策を講じること。
- 3 成田空港を核とした、道路、公共交通などの交通ネットワークを速やかに整備し、県内はもとより首都圏の経済・産業の活性化を図ること。また、空港周辺地域の対策として、空港周辺のインフラ整備及び地域振興策の検討を早期に進め、地域の活性化につながる将来像を示すこと。

平成29年5月

千葉県市長会長 清水 聖 士